

No.	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患(簡略名)	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業検査前 検査	企業検査後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
44	2008/7/22	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	08/03-06	HBsAg(-) (00/11) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) (08/03)	HBsAg(-) (08/05) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) (08/06) HBV-DNA(-) (08/06)	-	HBV-DNA(-) (08/05) HBV-DNA(-) (08/07)	陰性(輸血 後)	保管検体16本 全部HBV- DNA(-)	
45	2008/7/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	血液疾患 消化器腫瘍	C型肝炎	07/01	HCV-Ab(-) (06/12)	HCV-Ab(+) HCVコアAg(+) (08/06)	-	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/07)	陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA(-)	
46	2008/7/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	女	90	外傷・整形外科的 疾患	C型肝炎	08/03	HCV-Ab(-) HCVコア Ag(-) (08/03)	HCVコアAg(+) (08/07) HCV-RNA(+) HCV-Ab(-) (08/07)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (08/03)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(-) (08/07)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA(-)	
47	2008/7/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿-LR	女	70	循環器疾患	B型肝炎	08/02 08/02 08/02	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/02)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) IgM-HBcAb(+) (08/06)	HBV-DNA(-) (08/02)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (08/07)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体8本全 部HBV-DNA(-)	
48	2008/7/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR 人赤血球濃厚液-LR	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	08/01-02 08/03	-	HBsAg(-) (08/02) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/03) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBeAg(+) IgM-HBcAb(-) (08/07)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/01)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/03) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/07)	陽性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体4本全 部HBV-DNA(-)	

No.	報告受理日	一般名	患者性別	生後	原疾患(病名)	検査項目	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者種別 NAT	受血者種別NAT	備考
49	2008/7/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	消化器腫瘍	細菌感染	08/06	-	shaking BT 40.0℃ 院内にて実施した患者血液培養より Escherichia coli(ESBL)を同定。	患者検体なし(調査なし) 投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。	-	-	-	調査結果を受けて担当医より「副作用・感染症と輸血血液との因果関係は不明である。」とのコメントが得られた。
50	2008/7/28	新鮮凍結人血漿-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	循環器疾患	細菌感染	08/07 08/07 08/07	-	術中術後輸血施行。 翌日、敗血症発症。 翌々日、敗血症性ショックにより死亡。 患者血液培養より Aeromonas hydrophilaを同定。	患者検体なし(調査なし) 当該製剤のセグメントチューブ(6本)でAeromonas hydrophilaに対する細菌培養試験を実施、Aeromonas hydrophilaは検出されず。	-	-	-	調査結果を受けて担当医より「副作用・感染症と輸血血液との因果関係なしと考える。」とのコメントが得られた。
51	2008/7/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	腎・泌尿器系疾患	B型肝炎	07/12	HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) (07/12)	HBsAg(+) (08/04) HBsAg(+) (08/05) HBeAg(-) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (08/05)	-	-	-	保管検体5本全部HBV-DNA(-)	
52	2008/7/31	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	血液腫瘍	細菌感染	08/07	-	BT 36.8→40.7℃ 血圧164/92→80/35mmHg 脈拍81→132/min SpO2 80台後半 患者血培養陽性。 Escherichia coli同定。	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査:陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし 投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。	-	-	-	
53	2008/8/5	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液	男	70	消化器腫瘍	B型肝炎	02/03 02/03	HBsAg(-) (02/03)	HBsAg(+) (05/01) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) (05/03) HBsAg(+) (06/09) HBsAg(+) (08/04)	-	-	-	保管検体4本全部HBV-DNA(-)	

No.	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患(病名)	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	受血者個別NAT	備考
54	2008/8/5	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	肝・胆・膵腫瘍	B型肝炎	08/04	HBsAg(-) (08/03) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBcAb(-) (08/04)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBsAb(-) HBeAb(-) HBcAb(-) (08/07)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/04)	-	陰性(輸血 前)	保管検体1本に ついて(全部) HBV-DNA(-)	
55	2008/8/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	07/03	HCV-Ab(-) (07/02)	HCV-Ab(+) (08/07) HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) (08/07)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-) (07/03)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/06) HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/07)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA(-)	
56	2008/8/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR 人赤血球濃厚液-LR 新鮮凍結人血漿-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	循環器疾患	B型肝炎	07/11-12 07/11-12 07/12 07/12	HBsAg(-) (07/11)	HBsAb(-) HBcAb(-) (07/12) HBV-DNA(-) HBeAg(-) HBsAb(-) (07/12) HBV-DNA(+) HBeAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (08/07)	-	-	-	保管検体22本 全部HBV-DNA (-)	
57	2008/8/13	新鮮凍結人血漿-LR 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	女	30	産科(出血)	C型肝炎	08/05 08/05 08/05 08/05	HCV-Ab(-) (07/10)	HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) HCV-Ab(+) (08/07)	-	HCV-RNA(+) (08/07)	陽性(輸血 後)	保管検体32本 全部HCV-RNA (-)	
58	2008/8/13	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	女	80	血液疾患	C型肝炎	08/03-06	HCV-Ab(-) (08/02)	HCVコアAg(+) (08/07) HCV-RNA(+) (08/07)	HCV-RNA(-) (08/03)	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/07) HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/07)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体3本全 部HCV-RNA(-)	
59	2008/8/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	女	50	免疫系疾患	細菌感染	08/08	BT 35.7℃ BP 90/50mmHg 脈拍50/min	BT 38.0~ 38.8℃ BP 172/101mmHg 脈拍80/min 呼吸数30回 /min以上 患者血液培養 は未実施	投与後検体について非溶 血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体 検査:陰性。 投与中止の当該製剤(1本) による細菌培養試験を実 施。陰性。		-	-	
60	2008/8/18	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	男	60	血液疾患	C型肝炎	07/11- 08/05 07/11- 08/05	HCVコア Ag(-) HCV-Ab(-) (07/11)	HCV-RNA(-) (08/02) HCVコアAg(+) (08/06) HCV-RNA(+) (08/06)	-	-	-	保管検体45本 全部HCV-RNA (-)	

No.	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(病名)	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業製投与前 検査	企業製投与後 検査	献血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
61	2008/8/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	男	70	呼吸器腫瘍 消化器腫瘍	B型肝炎	08/03	HBsAg(-) (08/01) HBsAg(-) (08/02) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/03)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(±) HBeAg(+) HBeAb(-) (08/07)	-	-	-	保管検体5本全 部HBV-DNA(-)	
62	2008/8/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	その他の疾患 糖尿病	B型肝炎	06/12	HBsAg(-) (06/09) HBsAb(+) HBcAb(+) (06/10)	HBsAg(-) (06/12) HBsAg(+) (08/07) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/08)	HBV-DNA(-) (06/10)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/08)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HBV-DNA(-)	
63	2008/8/27	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	07/10- 08/06 07/12- 08/06 07/12- 08/02	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) (03/12) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) (04/01) HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) (04/08) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) (04/10)	HBV-DNA(-) (08/01) HBV-DNA(-) (08/01) HBV-DNA(-) (08/02) HBV-DNA(-) (08/04) HBV-DNA(-) (08/04) HBsAg(-) (08/06) HBV-DNA(+) (08/06) HBV-DNA(+) (08/06) HBV-DNA(+) (08/06) HBV-DNA(+) (08/07) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) (08/08)	-	-	-	保管検体39本 全部HBV-DNA (-)	
64	2008/9/1	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR 新鮮凍結人血漿	女	30	産科(出血)	B型肝炎	08/04 08/04	HBsAg(-) (07/10) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/04)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) (08/08)	-	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/08)	陽性(輸血 後)	保管検体10本 全部HBV- DNA(-)	
65	2008/9/1	人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR	女	10	血液疾患	細菌感染	08/08	-	患者血液培養 よりグラム陰 性菌 Pseudomonas aeruginosaを 検出	投与中止の当該製剤(1本) による細菌培養試験を実 施、陰性。		-	-	

No.	報告受理日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(簡略名)	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	受血者個別NAT	備考
66	2008/9/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	30	外傷・整形外科的疾患	細菌感染	08/08	BT36. 6℃	輸血開始15分後、BT37.9℃悪寒 院内にて実施の患者血培養によりMRSAを同定した。	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査:陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし 投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。		-	-	2008年8月18日に副作用名「悪寒」として情報入手し、担当医の重篤度判断が非重篤であったため報告対象外としていたが、8月20日に細菌感染も疑われるので関連項目を調査してほしいという追加情報を入力したため、感染症症例として報告する。 調査結果を受けて担当医より「細菌感染と輸血血液の因果関係なしと考える」とのコメントが得られた。
67	2008/9/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	80	消化器疾患	C型肝炎	07/11	HCV-Ab(-) (07/09)	HCV-Ab(+) (08/07) HCV-RNA(+) (08/08)	HCV-RNA(+) (07/11)	HCV-RNA(+) (08/08)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体2本全部HCV-RNA(-)	
68	2008/9/3	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	60	肝・胆・脾疾患 血液腫瘍 血液疾患	B型肝炎	08/03-05	HBV-DNAポリメラーゼ(+) (08/04) HBV-DNAポリメラーゼ(+) (08/05) HBsAg(+) HBeAg(-) HBeAb(+) (08/03)	-	-	-	調査なし	保管検体5本についてHBV-DNA(-)	
69	2008/9/8	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	~10	血液腫瘍	B型肝炎	08/05-07 08/06-07 08/05-07	HBsAg(-) (08/05)	HBsAg(+) (08/08) HBV-DNA(+) HBeAg(-) HBeAb(-) IgM-HBeAb(-) (08/08) HBsAg(+) (08/08) HBsAg(+) HBeAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) (08/08)	-	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/08)	陽性(輸血後)	当該 08年5月21日HBV-DNA(-)(適及調査対象) 次回08年6月17日HBsAg(+)(陽転献血)保管検体についてHBV-DNA(+) 同時期に輸血され輸血血液14本の保管検体14本についてHBV-DNA(-)	当該08年5月21日HBV関連検査陰性(適及調査対象)保管検体(個別NAT)HBV-DNA陰性 次回08年6月17日HBs抗原検査陽性(陽転献血)保管検体(個別NAT)HBV-DNA陽性 患者検体と献血者検体(次回献血時:HBV陽性)とでPreS/S領域を含むP領域の前半部の1556bpの塩基配列を比較したところ、両者の塩基配列はすべて一致した。献血者と患者のHBウイルスはGenotype Aで塩基配列からSubtypeはadwと推定した。
70	2008/9/8	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	細菌感染	08/08	-	14:17 輸血中止。BP71/39 胸苦あり 15:10 BP103/33 悪寒・ふるえ SpO2 98~100% 17:30 BT40.6℃ BP124/74 22:00 BP64/- 23:10 BT37.7℃	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査:陰性 投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施した結果、G群連鎖球菌を検出。 同一採血番号の血漿(1本)で、無菌試験を実施、陰性。 保管検体(1本)で細菌培養試験を実施、G群連鎖球菌は検出されず。		-	-	患者血液培養により検出された菌株を医療機関より入手し、細菌培養試験を実施したところ、G群連鎖球菌が同定された。 患者および当該製剤より同定された2つの菌株について遺伝子型別試験を行い、二者が同一の菌株であることを確認した。 上記結果を受けて担当医より「副作用・感染症と輸血血液の因果関係ありと考える」というコメントが得られた。

No.	報告受理日	一般名	患者性別	年代	原疾患(略称)	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	献血者種別 NAT	献血者種別NAT	備考
71	2008/9/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	30	外科・整形外科的疾患 出血	細菌感染	08/08	SpO2 98% pH 7.519 PaO2 71.4mmHg PaCO2 35.7mmHg FiO2 30% BT 37.3℃ BP123/64 HR128	BP174/85 HR124 SpO2 72~80% 輸血中止。 悪寒5分以上持続。 SpO2 98% pH 7.490 PaO2 507.6mmHg PaCO2 32.6mmHg FiO2 100% BT 38.4℃ 院内にて実施の患者血液培養は陰性 中心静脈カテーテルから Enterococcus faecalisを同定	非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査:陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし 投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。		-	-	
72	2008/9/10	人血小板濃厚液	女	50	腎・泌尿器系疾患 血液腫瘍	B型肝炎	07/12 08/02	HBsAg(-) HBsAb(+) (07/06) HBsAg(-) HBsAb(+) (07/07) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(-) (07/10)	HBsAg(-) HBsAb(-) (08/02) HBsAg(+) (08/08) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/08)	-	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(-) (08/02) HBV-DNA(+) (08/02) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/08)	陽性(輸血後)	保管検体2本全部HBV-DNA(-)	
73	2008/9/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結血漿-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	循環器疾患	B型肝炎	07/12 07/12 07/12	HBsAg(-) (07/11)	HBsAg(+) (08/05) HBV-DNA ² 1) メラーゼ(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) (08/05) HBsAg(+) HBsAb(-) (08/08) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) (08/08)	HBV-DNA (-) (07/12)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/12) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/8)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体9本(全部)についてHBV-DNA(-)	

No.	報告受理日	一般名	患者性別	年代	原疾患(病名)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	企業製投与前検査	企業製投与後検査	献血者性別 NAT	献血者性別 NAT	備考
74	2008/9/16	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	B型肝炎	05/08- 06/03 07/11- 08/06 06/01- 07/12	-	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (06/03) HBsAg(-) (07/08) HBsAb(-) (07/08) HBsAg(-) (07/11) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) (08/08)	-	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (08/09)	陽性(輸血後)	保管検体34本 全部HBV-DNA(-)	
75	2008/9/16	人赤血球濃厚液-LR	女	20	神経腫瘍 呼吸器疾患	細菌感染	08/08	-	BP130→95 輸血中止 30分後には発疹もなくなりBPも120-130まで回復 患者血液培養調査中	非溶血性副作用関連検査実施予定。 被疑薬2本の内、1本については同一採血番号の血漿(1本)で無菌試験を実施し、残る1本については投与中止の当該製剤(1本)による細菌培養試験を実施する予定。		-	-	
76	2008/9/17	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結血漿-LR	女	50	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	08/06	HCV-Ab(-) (08/06)	HCV-Ab(+) (08/08) HCV-RNA(+) (08/08)	-	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+) (08/08)	陽性(輸血後)	保管検体4本 (全部)HCV-RNA(-)	
77	2008/9/17	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	血液疾患	細菌感染	08/09	-	BT40.1℃ 患者血液培養陰性。	当該製剤のセグメントチューブ(1本)による細菌培養試験を実施、陰性。 非溶血性副作用関連検査実施。 抗血漿タンパク質抗体検査:陰性 抗白血球抗体検査:抗HLAクラスI抗体、抗HLAクラスII抗体陽性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし		-	-	調査結果を受けて担当医より「細菌感染と輸血血液との因果関係なしと考える。」というコメントが得られた。

No.	報告受理日	一般名	患者性別	年齢	原疾患(既往症)	感染症名	発症年月	検査前検査 (年月)	検査後検査 (年月)	企業25前 検査	企業25後 検査	受血者種別 NAT	受血者種別 NAT	備考
78	2008/9/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	07/10 07/10	-	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (07/10) HBV-DNA(+) (07/11) HBV-DNA(+) (07/12) HBV-DNA(+) (08/03) HBV-DNA(+) (08/05) HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAb(-) HBcAb(+) (08/08)	-	-	-	保管検体2本全部HBV-DNA(-)	
79	2008/9/22	人血小板濃厚液(放射線照射) 白血球除去人赤血球浮遊液	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	06/03-07 06/07	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (06/03)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) (08/08)	-	HBV-DNA(+) (08/08)	陽性(輸血後)	保管検体6本全部HBV-DNA(-)	
80	2008/9/22	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	消化器腫瘍 肝・胆・膵腫瘍	細菌感染	08/09	輸血前日 BT 36.8℃	輸血開始5時間後 BT 38.0℃ 悪寒 輸血1日後 BT 40℃ 血培養採取 患者血液培養よりBacillus cereusを同	同一採血番号の血漿(1本)で無菌試験を実施:適合。		-	-	
81	2008/9/29	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿	男	70	循環器疾患	C型肝炎	07/07 07/07 07/07	HCVコア Ag(-) HCV-Ab(-) HCVコア Ab(-) (07/05) HCVコア Ag(-) HCV-Ab(-) HCVコア Ab(-) (07/07)	HCV-RNA(-) HCV-Ab(+) HCVコアAb(+) HCV群別(不検出) (08/06) HCV-コアAg(-) (08/07)	-	-	調査なし	保管検体11本(全部)についてHCV-RNA(-)	
82	2008/9/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	循環器疾患	B型肝炎	07/10 07/10 07/10	HBsAg(-) (07/09)	HBsAg(+) (08/08) HBsAb(+) HBcAb(+) (07/09)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+) (07/09)	-	陽性(輸血前)	保管検体7本(全部)HBV-DNA(-)	
83	2008/4/1	コンコエイトHT	男			C型肝炎	不明							販売中止済みの製品について、掘り起こし症例。
84	2008/4/7	クリスマシン-M				C型肝炎	1984/12/3		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
85	2008/4/7	クリスマシン-M				C型肝炎	1986/4/25		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。

No.	報告受理日	一般名	患者性別	生年	氏名(フリガナ)	患者名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	献血者種別 NAT	献血者種別NAT	備考
86	2008/4/7	クリスマスシー-M				C型肝炎	1984/5/26		不明日C型肝炎。					訴訟関連。現在は販売中止。
87	2008/4/7	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/11/14		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
88	2008/4/7	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/1/18		不明日C型肝炎。					訴訟関連。現在は販売中止。
89	2008/4/7	クリスマスシー-M				C型肝炎	1985/6/17		不明日C型肝炎。					訴訟関連。現在は販売中止。
90	2008/4/7	クリスマスシー-M				C型肝炎	1983/2/26		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
91	2008/4/7	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/1/23		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
92	2008/4/7	クリスマスシー-M					1982/9/14		不明日C型肝炎。					訴訟関連。現在は販売中止。
93	2008/4/7	クリスマスシー-M				C型肝炎	1983/6/18		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
94	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/7/4		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
95	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/6/19		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
96	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/4/30		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。
97	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1985/10/7		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
98	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/1/12		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。
99	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/3/27		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。
100	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/3/23		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。
101	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/3/18		不明日C型肝炎。 現在、肝硬変・肝癌					訴訟関連。現在は販売中止。

No.	報告受理日	一般名	患者性別	生年	原疾患(簡略名)	感染症名	感染年月	検査実施年月	検査実施年月	検査実施年月	検査実施年月	検査実施年月	検査実施年月	検査実施年月
102	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1983/6/22		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。
103	2008/4/8	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/7/13-15		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
104	2008/4/14	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)			産科(出血)	C型肝炎	1991/12/10		不明日C型肝炎。					販売中止済みの製品について、掘り起こし症例
105	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/3		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
106	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/01		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
107	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/01		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
108	2008/4/21	クリスマスシー-M				C型肝炎	1983/11		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
109	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/10		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
110	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/3		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
111	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1984/09		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
112	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1987/10		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
113	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1993/08		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。
114	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1982/09		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
115	2008/4/21	クリスマスシー-M				C型肝炎	1981/06		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
116	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1988/11		不明日C型肝炎。 現在慢性肝炎					訴訟関連。現在は販売中止。
117	2008/4/21	フィブリノゲンHT(乾燥人フィブリノゲン)				C型肝炎	1989/04		不明日C型肝炎。 現在、無症候性キャリア					訴訟関連。現在は販売中止。